

ベトナムの家庭の食卓での習慣について

今回は多くの方に知られていないベトナムの家庭の食卓マナーでの習慣を紹介します。

ベトナムでは二、三世代で同居している家庭が多く、家族が揃ってから食事をする習慣があります。食事を始める前に、目下の人が、目上の人に対して、一人ずつ「名称+どうぞ食べてください」という挨拶を言う習慣があります。孫たちや子供たちの一番年下から順に「おじいさん、おばあさん、おじさん、お父さん、お母さん・・・」と言っていきます。その順番が全員に回ってから、食事が始まります。現代では、目下の人から順番に「皆さん、どうぞ食べてください」という一言で済む家族もありますが、マナーの厳しい目上の人にはちゃんと一人ずつに食事の挨拶をしないとイケない家族もあります。



お正月に家族団欒

食事にお母さんや娘など女性の方がご飯を盛る役割を担います。そのため、ものを取りに行きやすい席や、炊飯器の横に座ります。目上の人や役目により、席が決められます。または、お酒を飲む男性とお酒飲まない女性の席も分けられます。さらに、先祖の命日やお正月に親戚や友達など大勢の人が集まる時は、床にベトナムの畳を敷き、料理を並べて、家族皆で囲んで、食事をします。

ベトナム人にとって、食事は空腹を満たすよりも、家族の絆を築くことが大切です。食事の間に、仕事や学校などで一日何があったか、お互いに分かち合うための大切な時間だと考えています。多くの家庭では、食事の時間はだいたい夜7時頃で、その時間は国営放送のTVニュースが放送されるので、テレビを流しながら、世間話やお互いの問題を話し合ったりします。一番騒がしい時間です。

お話は変わりますが、私は日本に来てから、日本人の方に「ベトナムもお米を食べる？」、「お箸を使う？」などを何回も聞かれた経験があります。ベトナム人の私からには当然だと思っていたことなので、少しびっくりしました。しかし、国と国は様々な違いや習慣がありますので、自分の国では当たり前のことですが、他の国では当たり前ではないことがたくさんあります。ですので、ベトナムについての質問をいただく時はベトナムのことを知りたいのだと思って喜んで答えています。多くの方に知られているフォー、ブン（コメ麺の料理）、バインミー（ベトナム風のサンドイッチ）の他、ベトナムの家庭料理も日本と同じように白米を主食に肉、魚や野菜などのおかずと組み合わせて食べます。お箸も使っています。違うのは、味付けまたは、食卓のマナーだと思います。

以上、ベトナムの家庭の食卓マナーです。